

第59回 愛媛県公立小中学校事務研究大会要項

- 1 大会テーマ 新たな役割を担い、学校教育を支える学校事務
～「高める」 個と組織が成長し続ける能力開発～
- 2 目 的 学校事務職員は専門性を有する職として、求められる役割を果たし組織の発展に貢献するためにも継続して能力向上に取り組む必要がある。個々の能力を把握し、採用から退職に至るまでの期間を通じて能力開発に努め、高い目標を持ち資質・能力を磨き続けることで組織の一員としての役割を果たし、学校教育の発展に寄与する。
- 3 主 催 愛媛県教育研究協議会
- 4 後 援 愛媛県教育委員会 松山市教育委員会 愛媛県小中学校長会
愛媛県小中学校教頭会 愛媛県PTA連合会
- 5 主 管 愛媛県公立小中学校事務研究大会実行委員会
- 6 参 加 者 公立小中学校教職員他教育関係者
- 7 期 日 令和8年10月21日（水）
- 8 会 場 全 体 会 松山市総合コミュニティセンター キャメリアホール
第1分科会 松山市総合コミュニティセンター キャメリアホール
第2分科会 松山市総合コミュニティセンター 大会議室

9 日 程

	9:30	10:00	10:15	12:00	13:00	16:00
	受付	開会式	全 体 会	移動 昼食	分 科 会	

10 全 体 会 第3次研究中期計画中間報告

基調提案

研究主題「新たな役割を担い、学校教育を支える学校事務」
～「高める（Climb）」個と組織が成長し続ける能力開発～

提案者

松山市立味酒小学校 主任 土川 法大

助言者

愛媛県総合教育センター 企画開発室
室長 檜垣 賢一

パネルディスカッション

ファシリテーター

内子町立五十崎中学校 主任 岡田 真吉

パネリスト

松山市立雄新中学校 事務長 森川 幸子
西条市立神拝小学校 事務係長 平岡 篤
砥部町立砥部中学校 専門員 河野 宏志
愛南町立御荘中学校 主任 山本 莉奈
上島町立生名小学校 主事 宗景 由匡

11 分 科 会

第1分科会	研 究 主 題	提 案 者
支部割当 伊予	個が生きる組織貢献型能力開発 ～組織で力を発揮する魅力ある事務職員を目指して～ 助言者 伊予市立北山崎小学校 校長 高石 達也	砥部町立麻生小学校 主任 小西 真弥

第2分科会	研 究 主 題	提 案 者
自由枠 宇和島	関わり合い、つながり合いで実らせる学校事務 ～楽しく、生き生き、今日の自分を越えていけ！～ 助言者 南予教育事務所 次長 石野 学	宇和島市立津島中学校 主事 稲田 哲伸

12 参加申込み

本大会はGoogleフォームでの申し込みとします。

以下のURL、又は二次元コードから必要事項を入力し送信してください。

<https://forms.gle/96tWTpurnkrKoVJPA>

申込期間は、令和8年7月22日(水)～令和8年8月28日(金)です。

分科会決定後の確認については、後日メールでお知らせします。

参加券の発行はありません。



13 参加費について

愛教研会員は参加費無料です。

非会員の方は、参加費1,000円を当日受付で集金させていただきます。

14 その他

昼食の斡旋はありませんので、各自で準備してください。

15 駐車場案内

体育館地下駐車場（東駐車場）95台、企画展示ホール地下駐車場（西駐車場）149台
いずれも有料駐車場（70分 100円）です。

総合コミュニティセンター内他施設の利用者への配慮のため、可能な限り公共交通機関を御利用ください。

なお、近隣商業施設への無断駐車は御遠慮ください。

令和8年度
第59回 愛媛県公立小中学校事務研究大会 全体会研究概要

- 1 大会テーマ 新たな役割を担い、学校教育を支える学校事務
サブテーマ ～「高める」個と組織が成長し続ける能力開発～



2 年次別課題 能力開発

3 サブテーマ設定の趣旨

令和6年9月、愛媛県教育委員会教育長より「愛媛県公立学校事務職員育成指標の策定について」が発出され、学校事務職員として今の自分に必要な資質・能力を知るとともに、将来の展望を描くことができるよう職階ごとの指標が示されました。この通知には「学校事務職員の資質・能力の向上を図るため」に指標を策定したことが記されており、愛媛の教育に寄与するための力量を身に付け、活躍の幅を一層拡大し、より主体的・積極的に校務運営へ参画することが期待されています。

学校を取り巻く環境は目まぐるしく変化を続け、情勢に合わせた学びの変革が図られているなか、令和7年10月、文部科学省が示す「学校・教師が担う業務に係る3分類」が改定されました。学校事務は、働き方改革、ICT化の進展など社会情勢や環境の変化に柔軟に対応しながら、教育活動へのより多様な関わりが求められ、学校事務職員の新しい役割が強く求められる時代となっています。

期待される役割と責任を果たすため、学校事務職員は新たに必要となる知識や能力等を着実に習得し向上させていく必要があります。また、県下全域で設置されている共同学校事務室においては、職位に応じた資質・能力の向上に努めていく必要があります。これらのことから、能力開発はすべてのキャリアステージにおいて欠かせないものであり、学びの積み重ねによる個の成長を、組織の成長・発展へとつなげる好循環を生み出す必要があると考えます。

第3次研究中期計画の4年次に当たる今大会の年次別課題は「能力開発」です。キーワード「高める」(Climb)には、1. 段階的に高める、2. 継続的に高める、3. 個と組織が共に高まる、という三つの意味を込めています。成長実感を得ながら学校組織をより円滑に機能させ活性化させるための能力開発により、個と組織が成長し続け、子どもの豊かな学びを保障することができる考えます。



4 全体会の運営形態

- * 第3次研究中期計画中間報告
- * 基調提案
- * パネルディスカッションによる討議

5 討議の柱

- (1) 学校事務職員に求められる役割と能力開発の在り方
- (2) 共同学校事務室の機能強化によるパフォーマンスの向上

第59回愛媛県公立小中学校学校事務研究大会 分科会研究概要



第1分科会 伊予支部

研究主題 個が生きる組織貢献型能力開発
～組織で力を発揮する魅力ある事務職員を目指して～

研究主題設定の理由

伊予支部では、一人一人がキャリアステージを意識し、長期的な視点で人材育成や能力開発に主体的に取り組むことで、成長実感を得ながら個々の特性や能力を高め、組織で力を発揮する魅力ある事務職員へ成長することができると考えて、研究主題を設定しました。

提案発表の骨子

伊予支部のこれまでの取組(グループ活動、事務室間交流研修)について発表すると共に、「個が生きる組織貢献型能力開発」の取組について発表します。

分科会運営の形態

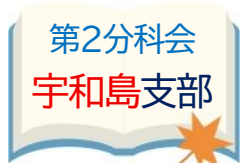
提案発表、研究協議、「事務職員倍倍Charmプロジェクト～組織貢献型能力開発～」の個人ワークを予定しています。

分科会討議の柱

- 1 能力開発や資質能力を高めるために大切なことは何か
- 2 個人ワークを体験しての気づき

参加者へのお願い

伊予支部の取組「事務職員倍倍Charmプロジェクト～組織貢献型能力開発～」を、ぜひ体験してみてください。参加者の皆様の能力開発の取組の参考や学校組織貢献につながる実践のきっかけになればうれしく思います。



第2分科会 宇和島支部

研究主題 関わり合い、つながり合いで実らせる学校事務
～楽しく、生き生き、今日の自分を越えていけ！～

研究主題設定の理由

これからの数年を共同学校事務室における人材育成のステージアップ期と位置付け、必要な環境整備や意識改革を考察した結果、誰もが自分事として組織の成長に関わる意欲と機会が重要であると考えました。そこで、「組織や他者への貢献につながる」ことを目標に、組織や他者と関わり合いながら、互いに学び合うことで継続的な組織の成長を目指し、本研究主題を設定しました。

提案発表の骨子

「能力開発モデル(学び→実践→発信→振り返り)」の循環に基づき、以下の三つの実践について報告します。

- 1 「発信」を通した個人の能力向上(若手・経験年数のある主事による相互の研修実践)
- 2 「関わり合い」を基盤とした組織づくり(業務担当者会や実務研修会等の企画・運営)
- 3 「振り返り」による学びの深化と可視化(キャリアステージ確認シートの活用と成果の見届け)

分科会運営の形態

提案発表(実践者のコメント含む)、バズセッション、助言者による指導講話

分科会討議の柱

- 1 関わり合いの中で育つ力を考えよう
人との関わりの中で「できるようになったこと」や「支えられた経験」を振り返り、日々の学びの工夫や、今後「少し挑戦」してみたいことを共有します。
- 2 明日からできる“伝える・つなぐ・任せる”を考えよう
アウトプット(伝える・つなぐ・任せる)による学び、効果について「経験したこと」「感じたこと」を共有し、明日からの実践につながる行動を考えます。

参加者へのお願い

バズセッションでは、世代や立場を越えて、自分の強みや実践を発信してほしいと思います。参加者全員が「今日」の自分を越えていけるよう、明日につながるヒントを共有していただけると嬉しいです。